

令和4年度 第1回 Global Science Leadership

SSH交流会であるGlobal Science Leadershipは今年度3回を予定している。第1回目の今回は、研究論文の導入（イントロダクション）を用いて英語プレゼンテーションの基本である起承転結の型や作法を学ぶこと、実験研修を通して科学や英語に対する興味・関心を深め、研究活動に関する知識や技術を修得し実験を考察する能力を高めること、また他の高校生と交流することを通して課題研究に関する情報交換を行うことを目的として実施した。

1 日時 令和4年7月29日(金)

2 場所 藤島高等学校第1・2講義室、1年生各教室
(オンライン zoomとのハイブリッド開催)

3 講師 福井大学附属国際原子力工学研究所 泉佳伸教授
福井大学学術研究院工学系部門原子力安全工学講座 松尾陽一郎准教授

4 対象 本校2年9組 41名
高志高校5名 敦賀高校4名 武生高校3名 三重県立津高校 18名

5 内容

- ①英語プレゼンテーション研修会「イントロダクションから学ぶ英語プレゼンのコツ」
- ②英語実験講座 「放射線について」（日本語）「放射線を測ってみよう！」（英語）
- ③生徒交流会



6 参加生徒の感想

・論文は読み手の興味を引く文章が重要で、要旨と結論に結果を明記すること、なぜその題材を選んだかを詳しく書くことを学んだ。今回論文の書き方について何も知らない状態だったため触れていただけでありがたかった。

・今回の活動では他校の生徒と協力して実験をしたり、研究の発表を通して知的探究への意欲がより深まったと思う。自分の分野とは全く違う研究に触れる事で意外にも新たな発見や気づきもあり、良い刺激になった。第2回もとても楽しみにしている。

・今日の研修会を通して、放射線に関する知識が深まったと思います。それに加えて、英語で実験を行うということが初めてだったので、とても新鮮でした。他校の生徒さんや大学院生さんとの交流によって、研究において大事なことを再確認し、新たな視点も加わり、今後の研究へのモチベーションが上がりました。

・藤島高校の子たちがとてもフレンドリーで話やすかったので、交流の時間があっという間に過ぎてしまった。研究については自分の好きなことをとことん突き詰めていくことが大切だと感じた。